

## 令和2年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和3年3月17日

	実施館	事業名	事業目的	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師等
1	柳沢	子育て中の女性のための講座 親子で楽しむ！ 絵本のある子育て	母として、ひとりの大人としての自分を同じ地域に住む、参加者と共に見つめ直し、これからの自分の生き方や学びを考える機会とする。	令和2年9月30日から 令和3年2月3日 水曜日 全11回	延べ94人	母親自身が絵本の魅力を感じ、親子で触れ合うことの大切さや、子育ての楽しさを学ぶことができた。子どもも異年齢の子どもや保育員と関わり合いながら、新しい関係を築くことができた。	福岡淳子（「保育のための人形劇」講座や人形公演。保谷柳沢児童館での「コロリンたまご」を継続中） 青木千景（いのちの語り部）
2	柳沢	【共催事業】 イスに座って！やぎさわディスコ	障がいのある人もない人も共に楽しむ「やぎさわディスコ」の開催を通して、人と人、地域と人がつながる共生社会を目指す機会とする。	令和2年10月18日 日曜日 *12月、2月中止	25人	障がいのある人もない人も、座って体を動かし、音楽を共に楽しむ場になった。実行委員、運営ボランティアが主体的にディスコ運営に参画した。	

3	柳沢	<p>【共催事業】 下野谷遺跡に学ぶ講座 縄文人の柔軟ライフ ～自然と共存した持続可能な暮らし～</p>	<p>環境変化に対応した縄文人の柔軟な暮らしに視点を置き、地域の財産である下野谷遺跡を後世に伝えていく大切さや、大きな変化の中にある私たちの暮らしを考える機会を提供する。</p>	<p>令和3年1月13日から 2月10日 水曜日 全4回</p>	<p>延べ52人</p>	<p>森に手を加えながら、自然のバランスを壊すことなく豊かな食糧を確保していた縄文人の柔軟な暮らしを学ぶことができた。</p>	<p>亀田直美（西東京市教育部社会教育課職員） 山本孝司（東京都埋蔵文化財センター職員）</p>
4	芝久保	<p>グランドピアノお披露目サロンコンサート 初めまして、これからもよろしく</p>	<p>芝久保公民館に（旧）西東京市民会館のコンサートピアノがやってきたことを、広く市民にお知らせする目的で開催する。</p>	<p>令和2年12月12日 土曜日</p>	<p>29人</p>	<p>演奏会を1回実施しただけで、広く市民にコンサートピアノの周知を図るのは難しい。今後も定期的な演奏会の開催等が求められる。自粛生活が長引く市民に、遠出をしなくても身近で安心して音楽に親しめる機会を提供できた。</p>	<p>西東京ジュニア・ユースオーケストラ団員</p>

5	芝久保	防災講座 コロナ禍における避難所の開設と運営	避難所開設及び運営における課題を明らかにする。防災に関心のある地域住民が学校区の枠を超えてつながりあう関係を築くきっかけを提供する。	令和3年1月17日 日曜日 全1回	20人	準備会や講座を通して近隣の避難所運営協議会メンバー同士の交流が生まれた。避難所開設の役割を担う市民の漠然とした不安の解消に役立った。	小野修平 (ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー) 後藤紀行(保谷第二小学校避難所運営協議会会長) 栗田和也(ホニホニおやじの会副会長)
6	芝久保	ドキュメンタリー映画上映会 未来をなぞる 写真家・畠山直哉	東日本大震災からの10年を振り返り、未曾有の災害について今一度考える機会をつくる。	令和3年2月13日 土曜日	16人	震災の記憶を風化させず、被災地に暮らす人の営みに関心を寄せ、考え続けることの大切さを共有できた。	畠山容平 (映画監督)
7	谷戸	農業を知る講座	地元野菜に触れ、環境から見た都市農業の役割を学び身近に農地のある暮らしを見直す。	令和2年8月25日から 令和3年2月16日 火曜日ほか 全18回	延べ531人	農業の大変さが伝わり、地産地消の有難さを味わった。都市農業の役割を学び暮らしへの影響が分かった。農地を守る意味、自分たちにできることを考えるきっかけとなった。	保谷隆司(市内農家) 小野紀之(環境カウンセラー)

8	谷戸	子ども体験講座 日本の伝統文化「能」を体験する	世界に誇る日本の伝統文化を知るだけでなく、鑑賞力も養う。また、文化だけでなく歴史を知り、他の学習への興味へ繋がり、同世代や次世代へも継承できることを目的とする。	令和3年1月6日 水曜日	2人 (見学5人)	伝統文化「能」の所作を体験することで「能」への興味が深まり、鑑賞力を養うだけでなく、「能」を演じることにも興味を持てた。「能」の一端を体験することで、日本文化・芸能の背景にある歴史や歴史上の人物についての学習意欲や興味を高めることができ、他国との繋がりも知ることができた。	小早川 修 小早川康充 (日本能楽会会員、シテ方観世流)
9	谷戸	健康教養講座 免疫力を下げない、わたしの養生法を見つけよう	これまでの生活習慣を見直し、改めて自らのからだづくりを構築し実践しようという意識を促す。	令和3年1月26日 2月2日 2月9日 火曜日 全3回	延べ52人	食事、睡眠、そして運動の重要性を学び、自分のための自分による養生法を考える手立てになった。	青木 満 (漢満堂代表、 薬剤師、鍼灸師、 大田区鍼灸マッサーヂ師会 会長)

10	保谷駅前	多文化共生講座 未来をつくる やさしい日本語ワークショップ	「やさしい日本語」について学び、異なる文化を持つ人々との共生をどのように推進していくのか、地域住民同士考え合うことを目的とする。	令和3年1月24日から 2月14日 日曜日 全4回	延べ76人	日本に居住する外国人の多くが英語ではなくて「やさしい日本語」でのコミュニケーションを求めているということから、データから知り、書き言葉、話し言葉両面から、使用の方法についてワークショップ形式で具体的に知ることができた。	岩田一成（聖心女子大学文学部准教授） 山屋頼子（NHK NEWS WEB EASY 制作スタッフ） 柳田直美（一橋大学国際教育交流センター准教授） 木村護郎クリストフ（上智大学外国語学部教授）
----	------	----------------------------------	--	------------------------------------	-------	---	---